

米田庄太郎 よねだ しょうたろう 社會學者、文學博士。明治二十一年一月一日奈良縣
添上郡生れ、昭和二十年十一月十八日歿（八七三—一九五）。明治二十四
年奈良英和學校卒。上京して築地（二）神學校の比較京教學の助手を務
め、アメリカ人教師アイ・ブーマンと京教學の研究に従事。二十八年
アメリカに、次ぐナランズに留學して二十五年歸朝、同社社高等科教
授を経て、四十年京都帝國大學講師となり、同大に初めの社會學の講
座を開いた。この時の唯一人の専攻受講者が高田保馬で、爾後講師の
儘も、東京帝大の這部進者として學東の權威となる。『日本社會學院
年報』(のち『社會學研究』)と改題(タ)編輯。

著書に、『現代社會思想の研究』(大正八年四月五日弘文堂書房)、『勞
働問題叢書』(世々台合著・植田好太郎編、大正八年七月十五日日本
評論社出版部「現代叢書」)、『現代人心理と現代文明』(大正八年七
月一日弘文堂書房)、『現代知識階級運動と成金とデモクラシー』
(再版・大正八年八月十日弘文堂書房)、『總論と人間愛』(大正十
一年六月一日弘文堂書房)等。